

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500774
事業所名	サポートホーム ごくらく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	28年度から29年度にかけて多くの看取りを経験し、利用者の入れ替わりがあった。 平均要介護度の低下や活動的な利用者が増えたため、買い物や散歩等で地域へも積極的に出かけており、地域との交流は盛んになっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	外部からは地域包括センター職員や民生委員・児童委員が参加し、年間6回、毎奇数月に運営推進会議が開かれている。 防災（災害時の避難先や備蓄、災害時ネットワーク等）や中学生の福祉体験学習受入れ、地域の認知症カフェ等、様々な話題について意見交換をしている。 民生委員・児童委員からは地域イベントの案内がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護受給者の利用があることから、区の保護係の職員が定期的に訪問し、利用者と話したり様子を見たりしている。 自ら話すことが困難な利用者については、管理者や職員が間に入って日々の様子を区の担当者に伝えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	約半数の利用者が身寄りがなく、生活保護受給者も多い。それゆえか、運営推進会議への家族の参加はないが、家族のいる利用者については家族のホーム訪問が頻繁に行われている。 ホームイベントにも多くの家族が参加している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		